

原発停止歓迎 料金より安全

無職

(大阪府 66)

大津地裁は、再稼働した福井県の関西電力高浜原発3、4号機の運転を差し止める仮処分決定を出した。地震・津波対策や避難計画に疑問が残ると指摘し、安全性に関する関電の証明が不十分とした判断を、歓迎したい。

仮処分の結果、3号機は10日に運転停止され、関電は5月から予定していた料金値下げを見送った。私は、安全が確立していない中での値下げより、安全性が確立されるまでは全国で最も高い水準の現在の料金が続くことを選択する。

4号機では、ボルトの緩みが原因の放射性物質を含む水漏れや、変圧器の保護機器の設定ミスによる緊急停止があり、仮処分前に止まっていた。こんな状況での再稼働は不安が大きい。しかも関電は、昨夏を原発なしで乗り切っている。

現政権は、原発再稼働や原発輸出を積極的に推進している。その状況の下、司法が独立性を発揮したものと、大いに評価できる。立法、行政、司法の三権分立の確立があつてこそ、この国の政治は成り立つと再認識させられた。今後も様々な問題で司法の存在意義を示してほしい。